

# 羽曳野市学校施設マネジメントプラン

## 〈概要版〉

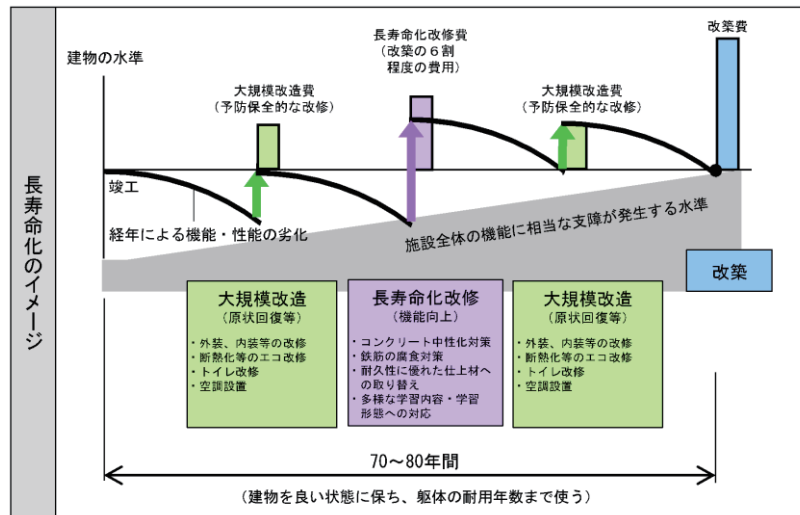
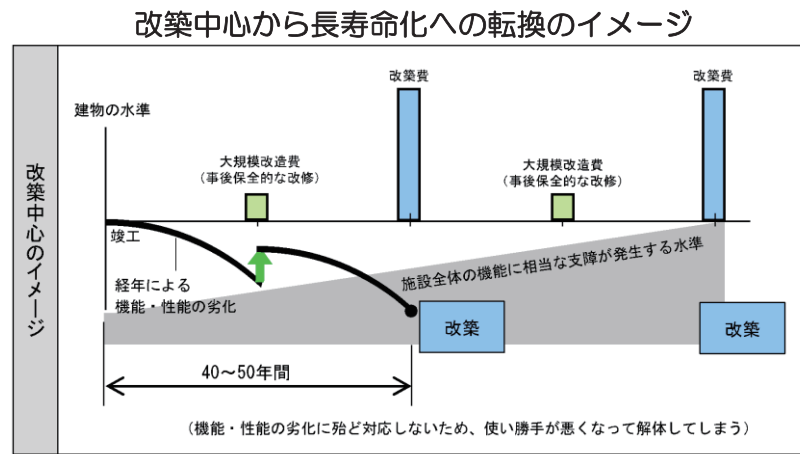
### 学校施設マネジメントプランの背景・目的・計画期間

羽曳野市（以下、「本市」という。）の学校施設は、昭和40年から昭和57年にかけて集中的に建築され、老朽化が進んでおり、今後、集中的に更新時期を迎えることとなります。

これら学校施設の更新には多くの財政負担が必要となりますが、そのための投資的経費と維持補修費に対する財源不足が今後の課題となって来ます。

こうした背景を踏まえ、羽曳野市学校施設マネジメントプラン（以下「本プラン」という。）は、学校施設の状況や将来的な需要見通しを踏まえ、効率的・効果的な学校別・施設別の事業手法を選定するとともに、長寿命化のための実施計画を検討しています。予防保全的な維持管理、計画的な修繕や改善等を通じてライフサイクルコストの縮減を図りつつ、学校施設に求められている機能・性能を確保することを目的として策定するものです。

本プランの期間は、2020（令和2）年から2059（令和41）年までの40年間を見通しつつ、児童・生徒数の推移が把握しやすい今後10年間の計画とし、原則として5年毎に見直しを行うものとします。



出典：学校施設の長寿命化計画にかかる解説書

※「改築」とは、既存の学校施設（建築物）を除却し、再度学校施設を建てることをいう。

### 学校施設の目指すべき姿

安全・安心な学習の場を提供することはもとより、社会のグローバル化・情報化に伴う新しい教育への対応や地域との相互連携を実現するため、次のとおりとします。

1. 安全・安心な学校施設
2. 快適性が確保された学校施設
3. 多様な教育・学習活動に適應した学校施設
4. 環境に配慮した学校施設
5. 地域の拠点としての学校施設

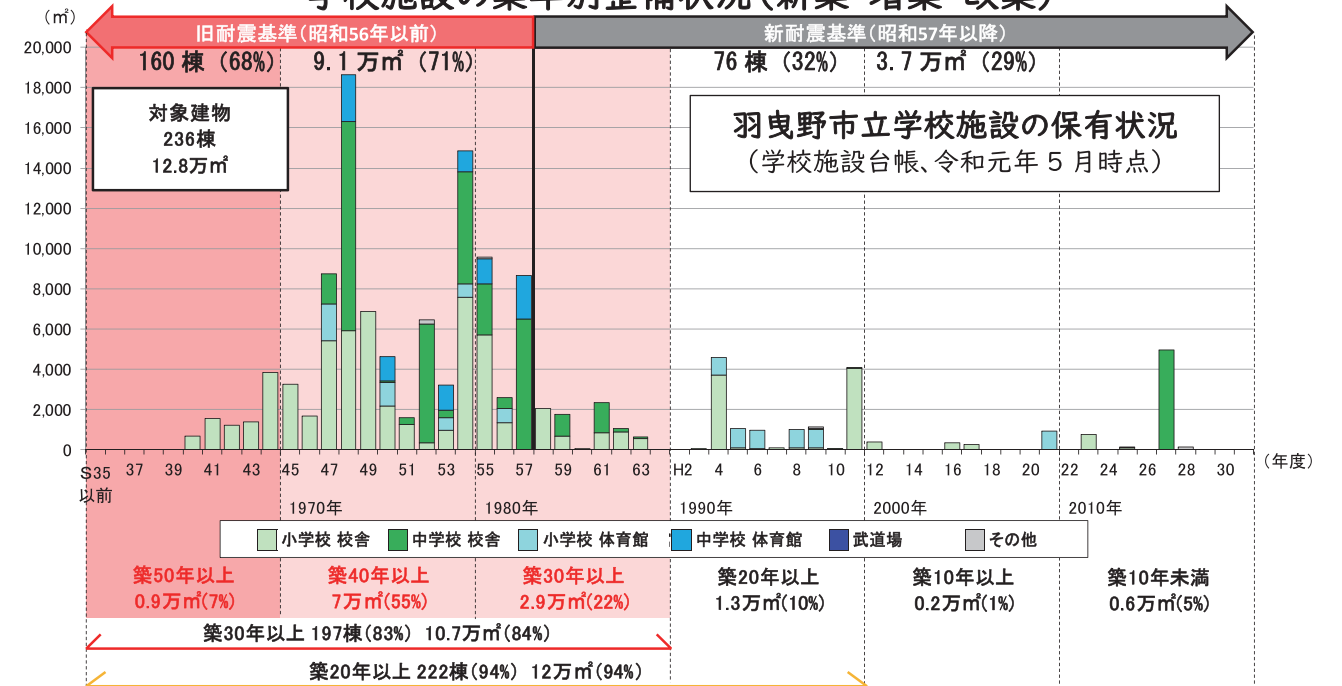


### 対象施設の実態整理

#### 1) 学校施設の保有状況

本市の学校施設の保有面積は約12.8万㎡となっており、公共施設全体の床面積の約51%を占めています。その内、築40年以上の施設は約62%を占めており、老朽化が進行しつつあります。

### 学校施設の築年別整備状況（新築・増築・改築）



#### 2) 学校施設の健全度の算定

施設整備の優先度を定めるにあたって、現地目視による劣化状況調査を実施しました。本調査は文部科学省から配布されたプログラム及び《学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書》に則って実施しています。調査対象は『屋根・屋上』、『外壁』、『内部仕上げ』、『電気設備』、『機械設備』の5項目でA～Dの4段階評価をしています。その調査結果をもとに前述のプログラムを使い、各施設の健全度を算出しています。（内部仕上げや外壁等、将来において構造躯体に影響を及ぼす恐れの高い項目に重点配分）

施設名	建物名	構造	延床面積 (㎡)	建築年度	築年数	健全度
古市小学校	特別・普通教室棟	RC	645	S42	52	53
	管理教室棟	RC	2,440	S55	39	59
	屋内運動場	RC	930	H21	10	91
	渡り廊下	S	83	H23	8	91
駒ヶ谷小学校	特別・普通教室棟	RC	628	S48	46	53
	特別管理教室棟	RC	132	S54	40	31
	屋内運動場	RC	931	H9	22	52
	特別教室棟	RC	247	S40	54	53
西浦小学校	特別教室棟	RC	512	S42	52	53
	放送室	S	11	S51	43	40
	W・C	RC	122	S63	31	62
	エレベーター棟	RC	104	H7	24	75
高鷺小学校	屋内運動場	RC	913	H8	23	62
	普通教室棟	RC	666	S43	51	53
	管理・特別教室棟	RC	421	S40	54	53
	教室棟	RC	1,113	S41	53	53
丹比小学校	管理教室棟	RC	795	S47	47	53
	屋内運動場	RC	987	H5	26	75
	特別・普通教室棟	RC	673	S48	46	43
	管理・特別教室棟	RC	1,289	S55	39	75
羽曳が丘小学校	特別教室棟	RC	285	S61	33	62
	屋内運動場	RC	913	H6	25	75
	普通教室棟	RC	1,120	S44	50	53
	普通・特別教室他	RC	519	S44	50	43
白鳥小学校	渡り廊下	RC	141	S44	50	53
	特別教室棟	RC	518	S49	45	40
	屋内運動場	S	556	S47	47	50
	教室棟	RC	1,498	S45	49	53
高鷺南小学校	管理棟	RC	554	S45	49	31
	屋内運動場	S	540	S50	44	53
	普通教室棟	RC	1,692	S46	48	53
	教室棟	RC	1,464	S47	47	53
高鷺南中学校	下足室	RC	30	S55	39	75
	特別教室棟	RC	873	S55	39	75
	屋内運動場	S	610	S50	44	53
	普通・特別教室棟	RC	1,460	S47	47	43
西浦南小学校	W・C	RC	222	S47	47	53
	昇降口	RC	38	S48	46	53
	管理・普通教室他	RC	844	S48	46	50
	屋内運動場	RC	650	S53	41	53
高鷺南小学校	普通・管理教室棟	RC	1,530	S54	40	53
	普通・教室棟	RC	1,165	S54	40	43
	普通・普通教室他	RC	833	S54	40	53
	普通教室棟	RC	515	S58	36	49
恵我之荘小学校	屋内運動場	RC	705	S56	38	52
	普通教室棟	RC	2,483	S49	45	53
	管理特別棟	RC	20	S49	45	53
	屋内運動場	RC	700	S54	40	50
高鷺北小学校	管理・普通教室他	RC	1,187	H11	20	62
	普通・特別教室棟	RC	2,875	H11	20	75
	屋内運動場	RC	1,246	S47	47	40
	管理・普通教室他	RC	1,644	H4	27	65
西浦東小学校	特別・管理教室棟	RC	804	H4	27	72
	普通・特別教室棟	RC	1,252	H4	27	75
	屋内運動場	RC	883	H4	27	49
	特別教室棟	RC	1,253	S55	39	62
菅田中学校	管理・普通教室他	RC	1,190	S61	33	75
	屋内運動場	RC	1,220	S53	41	53
	体育倉庫	S	72	S50	44	40
	管理・普通教室他	RC	4,966	H27	4	93
高鷺中学校	特別教室棟	RC	835	S54	40	53
	管理・特別教室棟	RC	2,134	S54	40	53
	屋内運動場	RC	1,232	S55	39	59
	普通・管理教室棟	RC	3,695	S48	46	31
峰塚中学校	特別教室棟	RC	960	S48	46	53
	普通・管理教室棟	RC	38	S55	39	59
	普通・特別教室棟	RC	1,135	S55	39	53
	普通教室棟	RC	564	S59	35	49
高鷺南中学校	屋内運動場	RC	1,200	S50	44	53
	下足室	S	79	S58	35	75
	エレベーター	RC	56	H3	28	62
	普通教室棟	RC	649	S52	42	53
河原城中学校	管理・特別教室棟	RC	288	S52	42	53
	屋内運動場	RC	1,025	S54	40	50
	管理・普通教室棟	RC	1,963	S57	37	62
	普通・特別教室棟	RC	1,948	S57	37	62
はびきの植生学園(前期)	特別教室棟	RC	2,476	S57	37	43
	屋内運動場	RC	134	S57	37	75
	普通教室棟	RC	918	S47	47	53
	特別教室棟	RC	931	S48	46	40
はびきの植生学園(後期)	管理棟	RC	60	S48	46	53
	下足室	RC	90	H25	6	100
	普通教室棟	RC	1,505	S47	47	53
	管理・特別教室棟	RC	2,859	S48	46	40
菅田中学校	管理棟	RC	977	S48	46	53
	屋内運動場	RC	1,310	S48	46	50
	第2屋内運動場	RC	754	S57	37	67
	プール専用附属室	RC	140	S48	46	40
菅田中学校	リフト	RC	13	H25	6	100
	講堂倉庫棟	RC	17	H25	6	100

※構造のRCは鉄筋コンクリート造、Sは鉄骨造を示します。

また、長寿命化改修に適する施設か否かを判別するために、既存の耐震診断調査結果にもとづく「耐震補強状況」「コンクリートの圧縮強度」「中性化試験結果」からみた構造躯体の健全性を整理しています。



## 学校施設整備の基本的な方針

学校施設整備の基本方針は次のとおりとします。

- (1) 公共施設として「予防保全・長寿命化の推進」「安全性の確保」「施設整備費の削減・財政負担の平準化」「他の公共施設との複合化」
- (2) 学校教育施設として「学習環境の向上」「児童・生徒の生活環境の向上」
- (3) 地域施設として「避難所として利用」「地域コミュニティの核施設」
- (4) 長寿命化改修した施設は 80 年間使用

## 学校施設整備の水準

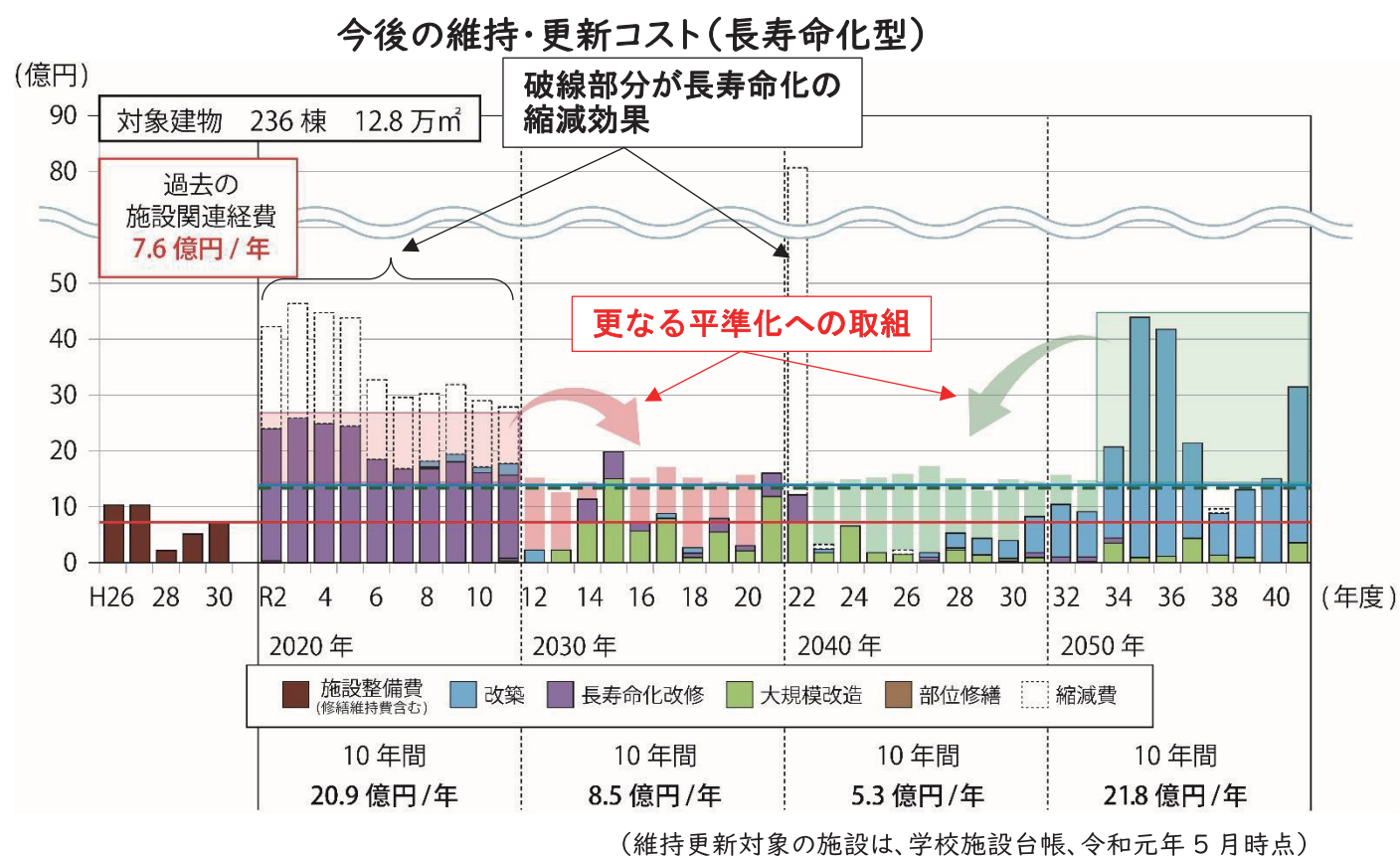
建物の長寿命化や設備機器の更新等により建物等の耐久性を高めるとともに、児童・生徒にとって安全・安心で快適な生活環境や学習環境の改善、並びに多様な教育形態による活動が可能となる環境の提供など、現代の社会的な要求に応じることのできる水準を確保します。

## 長寿命化の実施計画の策定（今後の維持・更新コスト）

実施計画の策定にあたっては、学校施設の状況や将来的な需要見通しを踏まえ、各学校のあり方を考慮した上で、効率的・効果的な学校別・施設別コストの縮減を図り、併せて中長期的な視点から財政負担を軽減・平準化を図ることが求められています。

従来からの事後保全的な修繕や改修を今後も続けた場合、本市は既に更新時期に達している学校施設が多く、今後 10 年間は改築が集中することになり約 36.1 億円/年が必要となります。

長寿命化型（予防保全型）の計画的な修繕や改修を行った場合、今後 10 年間は長寿命化改修が中心となり約 20.9 億円/年が必要となります。従来型に比較し約 15.2 億円/年圧縮できるものの、過去 5 年間の学校施設の関連経費（約 7.6 億円/年）の約 2.8 倍に相当する費用が必要となるため、健全度の高い施設の改修時期を後ろ倒ししたり、施設劣化の進行や需要動向に応じて学校施設の更新を前倒ししたり、規模の最適化をするなど、維持・更新コストの更なる平準化や縮減が求められます。

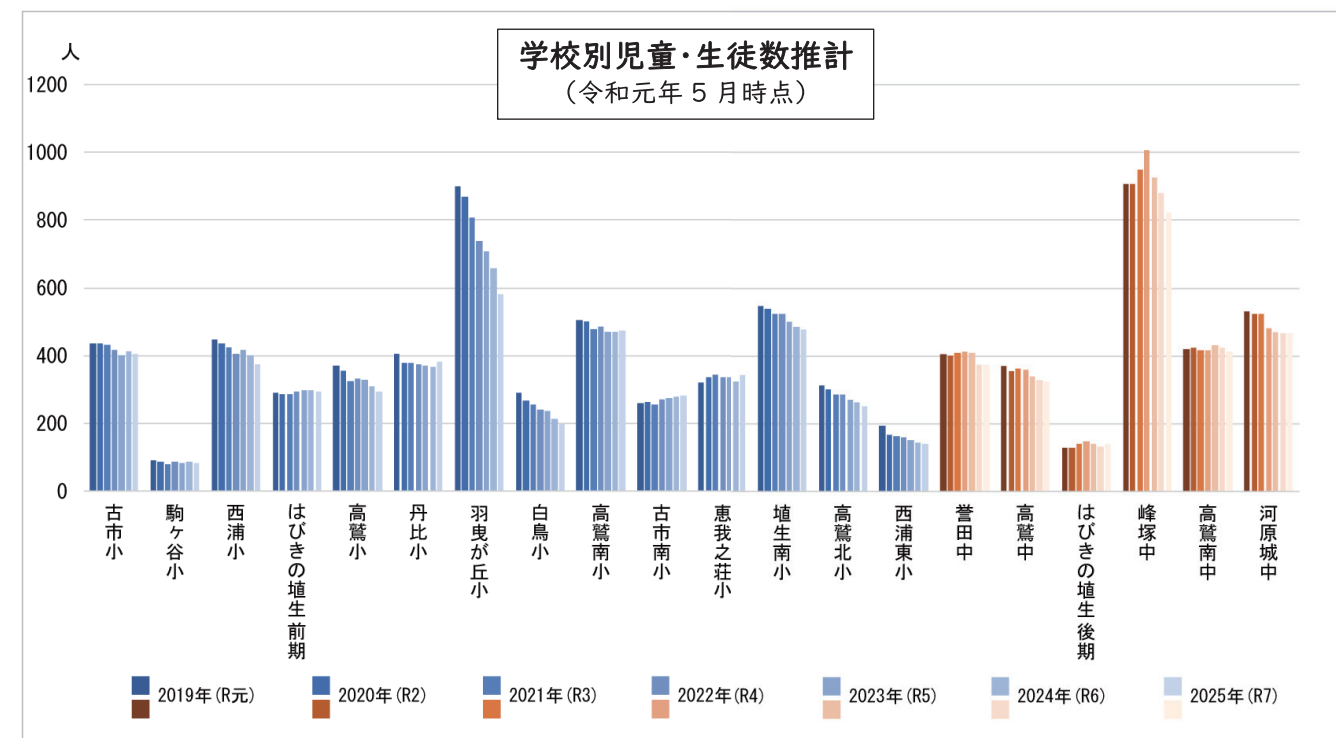


## 将来に向けた課題

◇児童・生徒数の減少（将来推計）

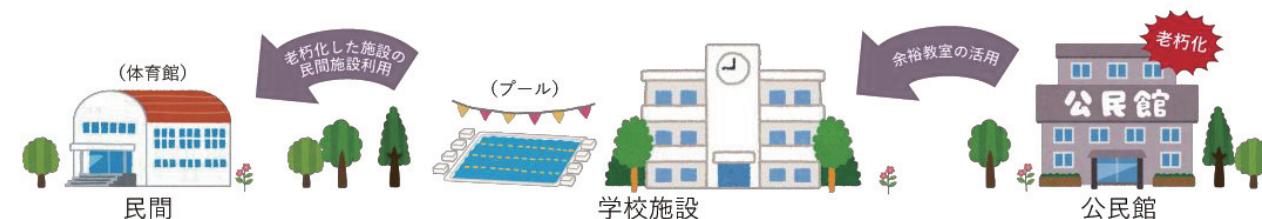
学校別児童・生徒数推計によると、2019～2025 年度までの 7 年間で市内全域での児童数は 15%減少し、生徒数は 8%減少します。国立社会保障・人口問題研究所の 2018 年 3 月の推計では、2045 年の年少人口は 2015 年からの 30 年間に 14,423 人から 6,484 人へと 55%も減少すると推計しています。

児童・生徒数の減少が、今後、学校運営に大きな影響を与えることが懸念されます。



◇施設の統廃合・減築

児童・生徒数の減少は、余裕教室を増加させるほか、1つの学校として適正な児童・生徒数が確保できなくなる場合も想定されます。このため、余裕教室を有効活用しつつ、老朽化した校舎等の減築、他の公共施設との統合などを検討する必要があります。また、既に老朽化により2校のプールを使用停止しており、他校との共用や民間運動施設の利用を検討する必要があります。



## マネジメントプランの継続的運用

本プランを効率的かつ効果的に進めていくためには、学校施設の基礎情報に加え、点検調査結果や改修履歴などを適切に記録し、情報を一元管理することが必要です。学校施設の情報は適切に管理されることによって、予防保全型の維持管理の視点から、今後の改修内容や時期などを総合的に判断可能になります。

実効性のある学校施設等マネジメントを可能とするためには、羽曳野市公共施設等総合管理計画に基づく取組体制が必要です。学校及び市内の横断的な組織を構築し、調整を行いながら、アクションプランの策定、本プランの見直し等を行い、学校施設等のマネジメントを推進していきます。